

平成26年度 事務事業評価シート

事務事業名		スポーツひろば				所管	教育委員会 青少年・スポーツ課		
事務事業の概要	行政計画	なし	事業NO.		計画事業名	事業の開始・終了年度			
	長期総合計画体系	[基本目標]							
		[小 柱]							
		[施 策]							
	根拠法令等	法令(義務)		[法令等名]	スポーツ基本法				
	事業対象	原則として区内在住、在勤、在学者							
	事業目的	生涯スポーツ社会の普及・振興に向けて、地域で気軽にスポーツや運動ができる場としてスポーツ基本法第13条の規定に基づき、区立小中学校の一部を学校教育に支障のない範囲で区民の利用に供し、区民のスポーツ振興を図る。							
	事業内容	誰もが身近な場所で気軽にスポーツに親しめるよう、週1回程度種目を定めて区立小中学校の校庭や体育館をスポーツひろばとして開放。また、幅広い年齢の方が気軽にスポーツに親しむ機会を提供するため、初心者教室なども実施している。							
委託の有無	なし	委託内容							
補助金の有無	なし								
事務事業の実績	種 別	指標の名称 (単位)		目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度		
	活動指標	ひろば数 (箇所)		10	10	10	10		
	成果指標	利用者数 (人)		9,000	6,678	8,011	8,195		
	決算額 (単位：千円)				1,382	1,642	1,580		
	事務事業コスト (単位：千円)	人にかかるコスト (人件費など)			900	833	852		
		物にかかるコスト (物件費・維持補修費)			315	422	385		
		その他のコスト (扶助費・補助費など)			1,068	1,220	1,196		
		総経費			2,283	2,475	2,433		
	財源項目 (単位：千円)	受益者負担額 (使用料・手数料・負担金など)			0	0	0		
		その他特定財源 (国や都の支出金・財産収入など)			0	0	0		
一般財源 (区負担額)			2,283	2,475	2,433				
前年度から改善した事項		区民の方々のニーズに合わせた教室を開催することにより、昨年度より参加者数が増加した。また、大きな事故等もなく、安心・安全な運営を行うことができた。							
評価の視点		評価	評価の理由						
	必要性	3	身近なところで運動・スポーツができる機会の場を提供するとともに、幅広い年代の方々が参加できるため本事業は、地域の活性化、コミュニティづくりのきっかけとなるため必要性は高い。						
	効率性	3	ピラティスやヨガなどの競技スポーツ以外の教室も提供しており、幅広い参加者を募ることができた。						
	手段の適切性	3	指導員を体育協会やスポーツ推進委員が行うことで、運営面・安全面とも適切に実施できている。						
	目的達成度	3	昨年度に比べ参加者は増加したが、種目や会場によって参加者数の差があるので、目標達成のためには計画や運営の更なる工夫が求められる。						
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)					評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		
区民生活において、身近な場所で気軽に運動ができる機会を作り出しており、生涯スポーツ社会の実現を推進しているため。						維持			